



かんたき通信

2023年8月号

知ってください

地域密着型サービス

いつも看護小規模多機能型サービスへご相談いただきありがとうございます。
看護小規模多機能ではご病状と共に、お客様のありたい姿、家族の介護力など様々なアセスメント情報を基にプランを提案してまいります。今回はその中で看護についてご質問いただいた内容をご紹介します

質問1:看護サービスの医療行為はどのような内容ものがあるの?



看護小規模多機能で行える内容の一例を右図にあげます。

退院時のご家族への手技指導をや在宅酸素、福祉用具、住宅改修の手配等も出来ます。

介護保険の訪問看護サービスは自宅への訪問及び通いにて実施可能です(医療保険の場合訪問時は可能だが通い中の実施は実施要件あり)。

	困りごと	対応(主治医の指示のもと実施いたします)
・ストマ ・バルーンカテーテル ・胃ろう ・点滴	①認知症等により、ご自身で外されてしまう ②ご家族が手技や管理に不安がある	必要な時、管理・観察・手技の指導が可能
・バルーンカテーテル	①尿が詰まりやすく毎週の交換、膀胱洗浄が必要 ②ご家族の毎週の受診は困難	バルーンの管理・交換・膀胱洗浄が通いサービス中に可能
・在宅酸素	酸素飽和度を測り、状態によって流量変更が必要	看護師が酸素の流量変更、ポンペの交換を実施
・気管切開	患部の消毒や固定確認が必要	訪問や通いにて看護師が消毒や固定確認を行い、異常があれば主治医への連携を実施
・排便コントロール	定期的な排便がなく、排便コントロールが必要	看護師による排便、洗腸、服薬の調整
・褥瘡	褥瘡がでやすい	状態観察を行い、医師と連携の上処置を実施
・インスリン	①自身で血糖測定やインスリン注射が出来ない ②血糖値が不安定な状況	血糖測定、インスリン注射、随時手技の指導の実施
・脱水症状	独居にて水分摂取管理、室温管理が出来ない	安否確認訪問時の室温調整と、異常時に通いへの切り替え
・看取り	最期まで自宅で自分らしく過ごしたい	必要時、三者会議実施の上、ターミナルケアが可能
・神経難病	①無動や多動があり、行動観察が必要 ②定期的な薬の服薬ができない	服薬管理と共に、状態を観察し主治医との連携が可能

質問2:まだ看護サービスを考えるほどでもないかな?とも思うのですが...

大きな病状悪化の前には、小さな兆候が表れることも多いです。看護小規模では看護と介護が連携し、小さな兆候を見逃さず、医療機関と連携し、柔軟なプランを実施・提案できます。

食生活

- 食事量の減退
- 脱水を起こしやすい
- 誤嚥しやすい

排泄

- 便秘
- 尿量少ない、頻尿

内服

- 内服忘れ
- 多く飲んでしまう

介護状況

- 入退院を繰り返している
- 在宅生活への本人・家族の不安
- 自宅で過ごしたいという希望

質問3:最期は自宅で過ごしたいとの希望があるけど不安



自宅で看取られる場合、急ぎの準備と在宅復帰後、柔軟な対応やサービス間の連携が必要となります。看護小規模は介護・看護・通い・泊りが同一事業所で対応可能でありお客様の状況に合わせた柔軟な対応(訪問の回数、通いの時間、泊り調整)を行うことができます。



いつでもお気軽にご相談ください!



いつもお世話になっております。
看護小規模多機能ふくしのまち上尾には5名の看護師が居ます。
個性豊かな5名ですが、「カンタキ」が大好きな気持ちは同じです!
地域の皆さまにこのサービスを安心してご利用いただけるよう、日々勉強・精進して参ります!!どうぞよろしくお願いいたします。

紹介動画
見てね!



看護小規模多機能

ふくしのまち上尾

☎ 048-725-6662

担当: 金田 (所長)

矢島 (CM)